

# 平成20年度事業報告書

## 1. 事業の状況

### A. アジア・アフリカ図書館事業

アジア・アフリカ図書館は、平成19年度中に大規模な蔵書整理を行い、20年4月よりリニューアルオープンした。活動再開にあたり、利用者の便宜を図るべく利用規則などを改定、新たな『利用案内』を作成して広報に務めた。また、講演会などの文化活動も例年同様にいった。

#### (1) 閲覧・貸出し業務

入館・閲覧者数、39名。貸出し蔵書数、13冊。利用登録者数、54名。

#### (2) 蔵書の整理、登録ならびに新規購入

邦書ならびにアラビア語、インド語書籍について、電子データによる登録作業を進めた。(登録終了冊数6116冊)

新規購入としては食文化に関する書籍等を購入、他に10冊ほどの寄贈図書を受けた。

#### (3) ホームページの運営 (URL: <http://www.aali.ac.jp/aa-lib/>)

「アジア・アフリカを知る集い」などの新しい情報を、トップページの「新着情報」にのせている。

#### (4) 講演会の実施

「アジア・アフリカを知る集い」(第6回～第11回)を開催した。

第9回は(社)中日文化研究所との共催で映画『雲南の少女 ルオマの初恋』(監督:章家瑞、2002年/中国/90分)の上映会を実施した。会場は三鷹市芸術文化センター。上映に先立ち欠端實氏(麗澤大学教授)による映画紹介と講演「雲南省ハニ族について」を行い、その後、本編を上映。来場者数は100名を超えた。

##### 1. 第6回『“ことば”との出会い』

平成20年5月10日 講演者:西江雅之 参加者数:35

##### 2. 第7回『北京の食文化』

平成20年7月12日 講演者:重森貝崙 参加者数:16

##### 3. 第8回『ラオスの農村と人びとの暮らし』

平成20年9月27日 講演者:園江満 参加者数:16

##### 4. 第9回『映画「雲南の少女 ルオマの初恋」上映会』

平成20年10月2日 講演者:欠端實 来場者数:117

##### 5. 第10回『モーリシャス島の人と文化』

平成20年12月6日 講演者:西江雅之 参加者数:17

##### 6. 第11回『Total Beauty :インド女性の化粧とおしゃれ』

平成21年3月7日 講演者:麻生小鈴・豊田雅人 参加者数:11

### B. アジア・アフリカ語学院事業

#### (1) 専門課程

実施学科および入学・卒業生徒数

##### a) アジア系語学科

中国語ならびにインド語学科(それぞれ1年課程)を実施した。卒業生の進路は国内進学1名、留学(インド)1名。

課程	学 科	在籍学生数			卒業生数
		1年	2年	計	
	中国語学科(1年)	1		1	1

	インド語学科(1年)	1		1	1
	計	2	0	2	2

アラビア語学科(1、2年課程)、インド語学科(2年課程)の在籍者はいなかった。

b) 日本語教育

日本語学科では19年10月入学「進学1.5年コース(39期)」、20年4月入学「進学1年コース(40期)」、20年10月入学「進学1.5年コース(41期)」を実施した。進学実績は、大学院7名、大学・短大12名、専門学校16名。

課程	学科	在籍学生数				卒業生数
		39期	40期	41期	計	
専門課程	日本語学科 進学1年コース		40		109	62
	日本語学科 進学1.5年コース	30		39		

日本語学科の在籍学生数は入学者数

その他

平成20年7月に修学旅行を実施(7月30日、31日)。於：長野県川上村。

(2) 生涯教育・委託研修

生涯教育

一般社会人向けの生涯教育部門では、土曜コース(別科速成科昼間クラス)の他、少人数のニーズに応える特別講座や短期講座(2日間集中講座・体験講座)を実施した。

また、三鷹ネットワーク大学において、アジア・アフリカ文化財団の企画講座(文化人類学講座「異文化の眺め方」)を実施した。

a) 別科

(初級)

言語	在籍学生数				修了生数 (初級修了)
	入門	初級1	初級2	初級3	
速成科アラビア語	11	7	9	7	7
速成科ヒンディー語	13	9	2		
速成科中国語	2	2			
速成科モンゴル語			2	2	2
計	26	18	13	9	9

(中級)

言語	在籍学生数			
	中級1	中級2	中級3	中級4
速成科アラビア語	3	3		
速成科ヒンディー語	4	4	4	4
速成科韓国語	5	5	5	5
速成科タイ語			4	4
計	12	12	13	13

(上級, 研究)

言語	在籍学生数					
	上級1	上級2	上級3	上級4	上級5	上級6
速成科アラビア語	3	3	3	3	3	2
速成科ヒンディー語	4	4	4	3		
速成科タイ語	3	4				
計	10	11	7	6	3	2

言語	在籍学生数		
	上級8	上級9	上級10
速成科アラビア語	4	3	2
計	4	3	2

言語	在籍学生数		
	研究9	研究10	研究11
速成科韓国語	3	3	3
計	3	3	3

b) 特別講座

講座	受講生数
アラビア語上級特例(少人数のため回数調整)	2
プライベートレッスン	4

c) 2日間集中講座

課程	講座名(場所)	開講時期	開講言語数	受講生数
講習会	体験講座(三鷹)	2008年4月	3	18
講習会	2日間集中講座(吉祥寺)	2008年9月	2	13
講習会	体験講座(学院校舎)	2008年9月	1	4
講習会	2日間集中講座(大宮)	2008年11月	4	12
講習会	2日間集中講座(吉祥寺)	2009年2月	3	13
計				55

d) 三鷹ネットワーク大学における企画講座

19年度から実施している文化人類学講座「異文化の眺め方」を継続して実施した(火曜日週1回、19:00-20:30)。講師は渡辺隆宏講師。各回のテーマ、実施時期、受講人数は以下の通り。

「異文化の眺め方3 言葉の文化人類学」	平成20年4月～6月	16名
「同上4 あらためて中国と北京」	平成20年7月	11名
「同上5 読み・書き・文化人類学」	平成20年9月～10月	10名
「同上6 文化の綴り方教室」	平成20年11月～12月	15名
「同上7 大人の“食育”講座」	平成21年1月～3月	8名

委託研修

官公庁からの委託研修生を対象としたクラスを中心に、アジア・アフリカ語の委託研修を例年通り行った。なお、日機装株式会社の研修は外国人研修生を対象にした日本語の指導。

警察大学校国際警察センター	4件	
公安調査庁研修所	1件	
財団法人国際金融情報センター	1件	
伊藤ハム株式会社	1件	
日機装株式会社	4件	以上11件を実施。

また、宮城県人事委員会より同県職員採用試験(中国語)の作成業務等を受託し、第1次筆記試験の作成・採点と第2次面接試験での試験官を派遣した。

(3) 対外活動

三鷹国際交流フェスティバル

三鷹国際交流協会が主催する「三鷹国際交流フェスティバル」に参加。テントショップを出店(平成20年10月)。

上級学校訪問(見学)の受入れ

近隣の公立中学校が行う「上級学校訪問」の受入れを行った。

来校した中学校: 多摩市立鶴牧中学校(平成20年11月)

立川市立立川第一中学校(平成21年3月)

### 三鷹市中原小学校との交流活動

三鷹市中原小学校 4 年生の「総合的な学習の時間」の国際交流を体験する授業に日本語学科留学生が招かれた。互いの国の紹介やゲームを通して交流を深めた（平成 20 年 7 月、12 月）。

#### (4) その他

平成 20 年 12 月に東京外国語大学（東京都府中市）において、日本におけるヒンディー語・ウルドゥー語教育 100 周年を記念した『国際ヒンディー語・ウルドゥー語教育シンポジウム』が開催された（東京外国語大学主催）。このシンポジウムにおいて、本学ヒンディー語講師の雪下洋一先生が、語学院におけるヒンディー語教育について発表を行った（12 月 13 日、「ヒンディー語・ウルドゥー語教育、世界の動向 3（日本）」）。

## C. 交流支援事業

#### (1) 外国人研修生教育

他団体の実施する「外国人研修生向け非実務研修」に対して、研修指導員の派遣を行った。（年間 12 回、延べ 120 日）

「外国人研修生の受入れ業務」の開始にあたり、JITCO（財団法人 国際研修協力機構）の賛助会員加盟の申込みを行い入会が承諾された。（平成 20 年 8 月）

日本側の受入れ企業を募る広報活動を行うとともに、ベトナムの送出し機関である GENELALIMEX 社（GENERAL IMPORT & EXPORT JOINT STOCK COMPANY、ホーチミン市）と、研修事業に関する協約締結を行った。（平成 21 年 3 月）

#### (2) 外国人子弟教育

三鷹市内在住の外国人子弟 3 名（学齢：小学校 6 年、中学校 1 年、中学校卒業相当）に対して、夏休み期間を利用した「外国人児童生徒日本語教育支援プログラム」を実施した。（平成 20 年 8 月）

小 6 と中 1 の生徒は市内の小中学校に在籍。それぞれのニーズ（日本語のブラッシュアップ、教科の補習等）に合わせて教育を実施。一方、中学卒業相当の女兒は、中国の中学校を卒業した後、日本に在留する母親に呼び寄せられて来日。日本語がほとんどできない状態だったので、50 音の読み書きや基本的な日常表現を指導。なお、今回のプログラムの実施にあたり、広報面では三鷹市教育委員会の協力を得た。また、クラス運営の面では、アジア・アフリカ語学院日本語学科の講師のほかに、子弟教育に従事した経験を持つ外部講師 2 名を迎えて指導を行った。

#### (3) 外国人学生宿舍運営

当財団所有施設「有朋館（ゆうほうかん）」を開館。アジア・アフリカ語学院に在籍する留学生の宿舍として利用開始。部屋数は一人部屋 17 室、二人部屋 3 室。初年度の延べ入居者数は 27 名。また有朋館とは別に、近隣の民間アパートを借り上げ、学生寮として利用した。今年度の実績は、契約部屋数 31 部屋、入室者数 34 名。

#### (4) 交流促進活動

中国湖北省黄冈師範学院（総合大学）の依頼を受け、中国政府の高等教育機関における人材育成事業の目的に沿って、11 月 13 日から 10 日間、学長以下 13 名の幹部教職員に対し「大学の運営と管理に関する日本研修」を行った。研修は、日本の大学の現状と課題、大学改革の趣旨と動向から学ぶ「他山の石...」という観点で、講義と大学訪問（亜細亜・東京学芸・筑波大学の学術・教育・文化交流）及び日本の風土と文化理解のための都内見学（東大・早大見学を含む）、筑波研究学園都市と日光国立公園、箱根富士（河口湖と富士山眺望、箱根火山等）国立公園の見学を行い、大きな成果を挙げた。

## D. 翻訳事業

官公庁、企業からの依頼を受けて、年間 158 件の翻訳案件を処理した。  
なお、翻訳者登録数は、年度末現在 125 名。

## E. その他

- (1) 維持会員の状況  
年度末現在 4 社。
- (2) 公益法人制度改革への対応  
公益法人制度改革 3 法が施行（平成 20 年 12 月）されたことを受け、新制度の内容を関係者へ周知するなど、制度改革への対応を開始した。

## 2. 庶務の概要

### A. 役員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	菊地 弘	平成 19 年 6 月 30 日	アジア・アフリカ文化財団会長 理事長を兼務
理事	篠原 昭雄	同	アジア・アフリカ文化財団専務理事
理事	木村 実季	同	アジア・アフリカ文化財団常務理事
理事	西江 雅之	同	アジア・アフリカ図書館長
理事	堀 中 浩	同	明治大学名誉教授
理事	小山 晃	同	オーケー フィッシャリーズ社長
理事	西崎 哲郎	同	KFi 株式会社社長
理事	中江 利忠	同	元朝日新聞社社長
理事	小倉 正雄	同	元(株)立川都市センター取締役
理事	黒柳 恒男	同	東京外国語大学名誉教授
監事	永井 和雄	同	元東洋建設株式会社常任監査役
監事	山本 忠雄	同	山本会計事務所所長

### B. 職員に関する事項

	平成 19 年度			平成 20 年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
事務職員（財団）		1 名	1 名		1 名	1 名
（図書館）		1 名	1 名		2 名	2 名
（語学院）	3 名	1 名	4 名	3 名	1 名	4 名
専任教員（語学院）	1 名	2 名	3 名	1 名	2 名	3 名
計	4 名	5 名	9 名	4 名	6 名	10 名

職員を兼務する常勤役員を除いている。